



認定
NPO

つけちスポーツクラブ
NPO TSUKECHI SPORTS CLUB

発行元
認定NPO法人つけちスポーツクラブ

第26号

〒508-0351
岐阜県中津川市付知町 5692 番地
TEL(0573)82-2005
FAX(0573)82-2257
E-mail:info@tsukechi-sc.or.jp

付知柔道40周年 アテネオリンピック金メダリスト塚田真希先生柔道教室



「付知町柔道大会40周年」を終えて 付知町柔道協会 片田 敏司

この度、付知町柔道大会が40年という記念すべき節目の大会を無事終える事ができました。これもひとえに皆様のご支援の賜と心より感謝申し上げます。

付知町の柔道の始まりは、昭和28年に柔剣道振興会から始まり現在に至っています。日頃の練習を通じて心を磨き、体を鍛え、文化や礼儀を学び心身両面が成長する事を柔道修行の目的として、本大会が最高の発表の場と考えております。

当初は町内だけの小さな大会でしたが、現在は東濃地区より幼児から一般までの幅広い層の参加を得て開催する大きな大会となりました。7月9日の大会には、青山節児中津川市長始め多数のご来賓の皆様にご臨席を賜り、選手・応援を含め1,000人を超える観衆でB&G海洋センターを埋めて熱戦を繰り広げ総合優勝する事ができました。

また8月4日は、40回大会を記念するNPOつけちスポーツクラブ主催の「アテネオリンピック金メダリスト塚田真希先生の柔道教室」を開催していただき、地域の皆様を始め東濃地区より柔道少年少女・指導者・育成会の方多数の参加をいただき感謝申し上げます。塚田真希先生の講演は、中学時代に体が大きいため柔道を始め、強豪高校に入学し厳しい練習だったため家に逃げ帰った事・友達や先輩に助けられた事など自分の失敗談から決して諦めない事を優しく語られ、それを熱心に聞く子供達の姿が印象的でした。また実技指導では分かりやすい指導法の中、現役さながらの力強さとスピードある体裁きに驚き有意義な柔道教室となりました。

終わりに、開催に当たりご支援頂きました関係者各位に敬意を表すると共に御礼申し上げます。

資源回収のお礼

今年も多くの皆様にご協力いただき誠にありがとうございました。資源回収で得た収益はスポーツ少年団、ジュニアスポーツクラブのユニフォーム補助金としています。今後も子ども達のスポーツ活動を支えていくうえで皆様の暖かいご声援とご協力をお願い致します。

★ 全国大会出場者4名の紹介★

◎全国中学生弓道大会(個人の部)出場

付知中学校2年 小南 直輝君(鳥屋脇)

◎第62回全国高等学校軟式野球選手権大会 優勝

◎第72回国民体育大会笑顔つなぐえひめ国体 優勝

中京高校3年 坪井 英希君(白沢)

伊藤 開也君(山本)



◎第72回国民体育大会笑顔つなぐえひめ国体 出場(弓道)

中京高校3年 早川 航永君(鳥屋脇)

結果・・・近的 準優勝 遠的 8位入賞

今後も、ますますのご活躍を期待しております。



平成29年度 中体連(中学校体育連盟夏季総合体育大会)結果

「取り組んだ時間の尊さ」 付知中学校長 水口和也

中体連までの過程を振り返ると、肉体的に、精神的に辛い時間、理不尽だと感じた時間、そんな時があったはず。弱音を吐いた事もあったでしょう。そんな時仲間を信じ、辛い時間を乗り越え、最後まで取り組みやり抜いた皆さん。
自己決定した事だから最後までやり抜いた皆さん。辛い時間に挑み続けたことこそ皆さんにとって尊い時間であり、未来を切り拓く力にもなります。
最後までやり抜いた皆さんに拍手！

ソフトボール部 地区大会 敗退

サッカー部 地区大会 敗退

バレー部 市大会 敗退

野球部 市大会 敗退

男子バスケット部 市大会 敗退

女子バスケット部 市大会 敗退

卓球部 市大会 敗退

陸上部 市大会

男子共通4×100Mリレー 県大会出場
(塩見駿太、秋山大徳、早川喜也、伊藤洸生)

3年100M 県大会出場
(塩見駿太、早川喜也)

共通200M 県大会出場
(秋山大徳)

女子共通走幅跳 県大会出場
(早川羽音)

ソフトテニス部 市大会団体 敗退
個人 敗退

「二年半を振り返って」

サッカー部 3年 早川 央大

僕達サッカー部は、日々厳しい練習を重ね成長をしてきました。初めの頃は、試合に全然勝てず練習もついていけないくらいでした。しかし、1人1人が上手くなろうという思いをしっかりと持ち、練習に全力で取り組んだことにより始めの頃よりとても成長する事ができました。いまでも心に残っている事があります。それは最後の中体連でみんなとても緊張していたけど、やる気だけはどのチームにも負けていませんでした。優勝という目標は達成出来ず準優勝でしたが、悔いの残らないとてもいい試合ができた事です。今まで僕達がのびのびとサッカーをできたのは、先生やコーチの方の熱心な指導や保護者の方々のサポートのおかげだと思います。またチーム内で誰かが困っている時は、みんなでしっかりと相談にのってあげたりして全員で支え合ってきたことで最高のチームになれました。最高のチームメイトとサッカーができて本当に良かったです。後輩達には今後も僕達の思いを引き継いで頑張っていってほしいです。

「二年半を振り返って」

男子バスケット部 3年 伊藤 達稀

僕がキャプテンとして一番大事にしていた事は「声を出す」事です。声を掛け合っていないとチームとして成り立たないからです。僕はキャプテンを務める前からこれを常に意識しました。僕達がまだ部活をやっていた頃まったく勝てませんでした。何度も話し合いを重ね、最初は話合った事を意識し練習に取り組めましたが、また元の状態に戻ってしまうので中々新しい事に取り組めず、後輩達にも迷惑をかけてしまいました。部活を引退した後、時々夜の練習に行っていますがすごくいい空気で練習しているので、自分達のようにならずにもそのまま続けていってほしいと思います。

「二年半を振り返って」

ソフトボール部 3年 伊藤 未来

私がソフト部のキャプテンとして大切にしてきた事は、仲間に頼りながらもみんなと教え合ったりアドバイスしていく事です。私は、初めはなににも出来なかったけど、みんながアドバイスをくれたりしたおかげで最後までキャプテンを続ける事ができました。そして今までで頑張ってきた事はプレーです。私は指示をすることがまったくできずいつも周りにいる仲間の指示に頼っていました。だから私に出来る事は盗塁をさす事でした。最終的に盗塁はあまりさす事ができませんでしたが、みんなのおかげでプレーに集中する事ができました。最後の中体連でも全員で最高のチームプレーができたのでよかったです。



●今年も、残りわずかとなってしまいました。冬の寒い間も、体力づくりなど、自分に出来ることを見つけて、ケガのないようにスポーツに取り組んでみてくださいね。